

(第1面)

産業廃棄物処理計画書


令和 5 年 6 月 30 日

栃木県知事  
福田 富一 様

提出者

住 所 栃木県鹿沼市上石川2079-1  
氏 名 関東高木産業株式会社  
代表取締役 高木 一男  
電話番号 0289-76-1625

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	関東高木産業株式会社
事業場の所在地	栃木県鹿沼市上石川2079-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	(0611) 総合建設業
②事業の規模	解体工事 年2.88億円
③従業員数	20名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>解体工事 → 廃棄物収集 → 中間処理場 → 埋立</p> <p>↓</p> <p>再生</p> 

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

廃棄物処理統括責任者 代表取締役



廃棄物処理担当者 工事部長



工事現場責任者 各工事長

各工事現場責任者及び関係先と協力し、廃棄物処理に関して減量化、適正管理を徹底させるために組織する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	排 出 量	別紙1の通り	t
	(これまでに実施した取組) 種類別に分別。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	排 出 量	別紙1の通り	t
	(今後実施する予定の取組) より細かい分別。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場での分別を徹底。混載をしない。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場での分別を徹底。混載をしない。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（        4        年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	全処理委託量	別紙1の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙1の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙1の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙1の通り	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙1の通り	t
	(これまでに実施した取り組み) 再生利用を行う処分業者に処理委託し、適正な処理を行った。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	全処理委託量	別紙1の通り	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙1の通り	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙1の通り	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙1の通り	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙1の通り	t
	(今後実施する予定の取組)  引き続き適正な処理を行う。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## R4年度実績及びR5年度目標値

単位：t

		排出量	全処理 委託量	優良認定処理業 者への処理 委託量	再生利用業者へ の処理委託量	認定熱回収業者 への処理委託量	認定熱回収業者 以外の熱回収を 行う業者への 処理委託量
廃プラスチック	実績 (R4)	111.51	111.50	0.00	111.51		
	目標 (R5)	80.00	80.00	20.00	60.00		
紙くず	実績 (R4)	0.00	0.00	0.00	0.00		
	目標 (R5)	0.00	0.00	0.00	0.00		
木くず	実績 (R4)	527.48	527.48	0.00	527.48		
	目標 (R5)	300.00	300.00	100.00	200.00		
繊維くず	実績 (R4)	21.97	21.97	8.94	13.03		
	目標 (R5)	10.00	10.00	5.00	5.00		
ガラスくず・コン クリートくず及び 陶磁器くず	実績 (R4)	289.00	289.00	14.50	274.50		
	目標 (R5)	150.00	150.00	50.00	100.00		
金属くず	実績 (R4)	2.83	2.83	0.00	2.83		
	目標 (R5)	0.00	0.00	0.00	0.00		
がれき類	実績 (R4)	890.50	890.50	408.30	482.20		
	目標 (R5)	500.00	500.00	250.00	250.00		
がれき類 (石綿含有廃棄 物)	実績 (R4)	11.00	11.00	0.00	11.00		
	目標 (R5)	0.00	0.00	0.00	0.00		
蛍光灯	実績 (R4)	0.080	0.080	0.080	0.000		
	目標 (R5)	0.000	0.000	0.000	0.000		